

流れのほとりにて

〜春のバレエ組曲

北谷直樹 (チェンバロ)

スペシャルゲスト

大西律子

(ヴァイオリン)

2016年2月19日(金)全2回公演

マチネ:14時30分 ソワレ:19時00分

えびらホール(東急旗の台駅より徒歩6分)

[入場料] 一般:4,500円 学生:2,500円(学生証のご提示をお願いします。)

[ご予約&お問合せ] えびらホール 電話:050-5588-3557 メール:ebilahall@gmail.com

※当公演は各回限定50席の完全予約制です。ご来場をご希望のお客様は上記連絡先まで必ずお申込みをお願いいたします。

流れのほとりにて ～春のバレエ組曲

17、18、そして21世紀のもっとも美しく心躍る
チェンバロのための舞踏曲をあつめました

ルイ・クーブラン 1626ごろ-1661

Louis Couperin

組曲 イ短調

Suite en La mineur

ヨハン・セバスティアン・バッハ 1685-1750

Johann Sebastian Bach

ヴァイオリンとバスソコンティヌオのためのソナタ ホ短調 BWV 1023
Sonate für Violine und Basso continuo in e-Moll

クラヴィーア練習曲集の1巻

パルティータ第4番 二長調 BWV 828より

Partita 4 in D-Dur

ルイ・クーブラン 1626ごろ-1661

Louis Couperin

組曲ハ長調

Suite en Ut majeur

ミルコ・ラザール 1965～

Milko Lazar

ヴァイオリンとチェンバロのためのバレエ組曲 2014より
from Ballet Suite for Violin and Harpichord 2014

北谷 直樹 (チェンバロ)



青年時代よりヨーロッパの舞台上で活躍し、現在はチューリッヒを拠点として幅広く活動。「情感のこもった演奏の中に巧妙な技術を駆使し、

音色は色彩的表現に富み、高い即興的流麗を醸しだしている」と各メディアより絶賛されている。チェチリア・バルトリ、ヒラリー・ハーン、ダニエル・ホープ、リッカルド・ミナージ、モーリス・シュテーター他と定期的に共演。その情熱はバロックのみに留まらず、ジャズ、ポップ、さらに伝統的な東洋と南米の音楽へと及ぶ。多くの録音の中でも独奏曲「ルイ・クーブラン」と「J.S.バッハ」はクラシックトゥデイ(独/米)にて10点満点の評価を得、「ルイ・クーブラン」よりシングル曲を提供したアルバムは4万5000枚の売上げを記録。「J.S.バッハ」はミュンヘンをはじめ各地の図書館にも収蔵。今冬は古楽器アンサンブルIl Pomo D'oro(伊)、La Folia(独)とのCDがそれぞれリリースされる。

スペシャルゲスト

大西 律子 (ヴァイオリン)



国立音楽大学卒業。第14回古楽コンクール(山梨)第3位入賞。「カンタータ・ムジカ Tokyo」「Millennium Bach Ensemble」「モーツァルト・アカデミー・トウキョウ

ウ(MAT)」「ヨハネス・カントーレス」のコンサート・マスター。「国分寺チェンバーオーケストラ」の弦楽器トレーナー。国立音楽大学非常勤講師。古楽・モダンを問わず様々な室内楽グループやオーケストラで活動中。

〈会場のご案内〉

えびらホール

2015年12月、東急旗の台駅より徒歩6分のところに完成した最大50名収容の古楽向け小ホールです。プライベートホールの為、ご予約のお客様のみに詳しい場所をお知らせいたします。ご理解くださいますようお願いいたします。